

アテネオリンピック  
金を逃した人 それぞれの言葉

『まだまだ強くなるために、神様が大きな試練を与えてくれたのだと思う。康生(井上)なら乗り越えられると思う』

柔道男子・斉藤仁監督

『年を取っているので特に意識せず、子供に恥ずかしくないプレーをしようと考えていた。中年の星。そうですね、働いている皆さんに、よしやるぞと思ってもらえれば……。20年かけて銀だったので、もう20年かけて金(メダル)狙います』

アーチェリー男子個人・山本博選手

『僕らはプロなので、最後まで責任を持って戦う』

野球・宮本主将

『日本のほうから応援が聞こえてきたので、勇気をもって最後まで戦うことができた。もっときれいな輝いているメダルがほしかったが、わたしの人生の中で金メダル以上の経験をさせてもらった。』

レスリング女子・浜口京子選手

『この2、3年で記録を伸ばす自信はあるし、やるべき課題は分かっているので楽しみ。』

ハンマー投げ・室伏広治選手